

ご町内のみなさん。おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。この場をお借りしまして、庄原市政の問題について、お訴えをさせていただきます。大変お騒がせいたしますが、しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。いよいよ市議会議員選挙と総選挙が目前に迫ってまいりました。みなさんの切実な願いを実現するため、みなさんのお力で、日本共産党の議席を、なんとしても、確保させていただきませう、心からお願いたします。

今度の市議会議員選挙は、定数8減の大激戦です。私たちは、みなさんの声にこたえ、財政難のもくもく、市民のくらし、福祉、教育を優先させるため、全力をつくしてまいります。どうぞよろしく願いたします。

さて、庄原市政の

第一の問題は、財政危機をどう克服するかということです。

財政危機の真の原因は、自民党、公明党の悪政にあります。しかし、不要・不急の大型建設事業を優先してきた市政にも、大きな問題があります。私たちは、ケーブルテレビ事業などの不要・不急の大型建設事業をやめさせ、さまざまな経費を削減させることで、市民のくらしをまもる財源を生みだしてまいります。

第二は、若者に、働く場を確保していくことです。

現在、若者の2人に1人が、派遣や臨時などの非正規雇用です。こうした社会に未来はありません。私たちは、国民運動と、力をあわせ、若者に安定した仕事を保障するため、全力をつくしてまいります。

第三は、出産医療の再開です。

庄原赤十字病院での出産がストップして丸4年になります。「1日も早く再開してほしい」これが、市民のみなさんの率直な声です。私たちは、医療行政に責任をもつ国や県に、責任をもって、産婦人科医を派遣させるため、みなさんと力をあわせ、全力をつくしてまいります。

第四は、少子化対策の一環として、第2子、第3子の保育料を軽減させることです。

現在は、兄弟がいっしょに入所していなければ第2子、第3子の保育料は安くなりません。私たちは、第2子、第3子は、無条件に軽減させるよう、全力をつくしてまいります。

第五は、住宅、店舗のリフォーム助成制度の創設です。

この制度は、不況のなか、市内の業者に工事を発注することを条件に、工事費の一部を市が助成するというもので、三次市が実施して大好評です。市内の業者の仕事が増え、市民のみなさんも助かる制度の実現に、全力をつくしてまいります。

第六は、国保税の引き下げです。

ためこんだ国保会計の基金約6億6千万円のうち、約6千万円を充てれば、一世帯平均1万円の引き下げが実現できます。私たちは、そのために、全力をつくしてまいります。

第七は、イノシシ駆除の徹底です。

イノシシによる被害が深刻で、農家の生産意欲をそいでいます。箱わなを市内に満げんなく設置させ、駆除を徹底し、頭数の減少に、全力をつくしてまいります。

そして、総選挙では、中林よし子さんを先頭に、政党名で投票いただく比例代表選挙で、議席回復に全力をつくしてまいります。

その実現のため、新しい政治の進路を指し示す、「しんぶん赤旗」のご購読と、みなさんの、大きなお力添えを、心から願いたします。私の、お訴えとさせていただきます。ご清聴いただき誠にありがとうございます。ございました。どうか、最後までよろしく願いたします。